



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.61

西仙北地域で精密板金部品の一貫生産を行っているのが、JUKI産機テクノロジー(株)大仙工場(松本潔代表取締役社長)です。

同社は、工業用マシン世界トップシェアを誇るJUKI(株)の子会社として、1973(昭和48)年に創業。2017(平成29)年には県内のグループ会社と合併し、現在に至ります。

創業時のマシン部品に始まり、同社は高精度な板金加工に真摯に取り組んできました。レーザー加工機などの導入、塗装工程の増設を経て、2009(平成21)年には、抜き・曲げ・溶接・塗装まで、板金部品の一貫生産体制を確立。溶接、塗装工程にはロボ



少量・多品種を効率化

JUKI産機テクノロジー(株)大仙工場[西仙北]

業種/チップマウンタ外装カバーのプレス・

板金・溶接・塗装

従業員数/81人

★今回の案内人は大仙工場部長の佐々木祐亮さんです。

ットを導入し、生産の自動化も進めています。主力製品は、スマートフォンなどの電気製品に内蔵される電子回路基板を作るうえで必要不可欠な「チップマウンタ」という産業用ロボットの外装カバーで、国内外で最先端のものづくりを支えています。

同社の事業は、工場の「自動化」が加速する中さらなる成長が見込まれる分野。今後も設備投資などを通して生産能力向上を目指します。「多様なニーズに柔軟に対応し、短納期・高品質を実現するために、IoTによって生産システム全体の最適化を図られるような製造現場を目指します」と、佐々木部長は語ります。

IoT…さまざまな物がインターネットに接続され、情報交換することで相互に制御する仕組み